



いざ、全国高等学校野球選手権山口大会へ! ~何のために~

期末考査が始まる前の数週間、昼休みの時間に渡り廊下からの大きな声が、校長室にも届いてきます。

野球部にとっては、「全国高等学校野球選手権山口大会」いわゆる「夏の大会」が始まります。校歌、大会歌「栄冠は君に輝く」を歌う声は、男女とも、とても元気よく、練習しはじめの最初から、とても大きな声です。一人ひとりのその声に、意識の高さを感じます。猪野応援団長のリーダーシップも素晴らしいし、その団長を支える他の応援団員の姿勢がこれまた素晴らしい。校内に轟く応援団の練習風景に、学年を超えた仲のよさ、仲間意識、団結、北高生の絆の強さを感じます。さて、次は、私が担任をしていた頃のお話を2つ。



[応援団員として野球部を応援するサッカー部 悠貴ががんばる理由]

大会の1回戦を翌日に控えた保護者面談で、あるお母さんが言われるのに、「先生、明日は野球部の試合なんですよ。『本気で応援せんといけん』って、悠貴が言っていましたよ。」1年の時は、少し斜に構えて、時に担任の先生に口答えをしていた彼から、そんな言葉がでるとは意外でした。しかも、当時、野球と人気を二分するサッカー部に所属していた彼が「なんで野球部だけ」と思っても不思議ではありません。当日、一生懸命、声を涸らしながら応援する彼の姿をみながら、次のようなことを考えました。



その言葉は、悠貴自身が高校生活において一生懸命打ち込むモノを持っており、打ち込んでいるからこそ出る言葉なのではないか。自分がサッカーに一生懸命打ち込んでいるからこそ、野球に一生懸命になっている仲間の姿を純粋に、応援できるのでしょう。彼は、きっとグラウンドで白球を追いかける野球部の選手の姿とピッチでゴール向かって突き進む自分の姿が重なったはず。彼が応援していたのは、実は、一生懸命な高校生活を送る自分自身にほかならないのではないかと。

本校では、野球応援を、学校行事として位置づけて、1年生を中心として、全校生徒で応援に行く体制を整えています。その理由としては、応援には、豊北高生としての自覚と誇りを高め、母校愛を育んだり、連帯感を培ったりするなどの様々な教育的効果が期待でき、その環境が野球応援にはあるからです。

「グラウンドで一生懸命な仲間の姿を通して、自分自身を応援する」そんな野球応援の意味を悠貴の姿から教えてもらいました。

[4番ライト竜二ががんばる理由]



これも保護者面談の時のお母様のお話「うちの竜二は、自分が活躍したことよりも、自分がヒット打って、監督さんが嬉しい顔するのがうれしいみたいですよ。『嬉しそうな顔がみたいからがんばる』って言っていました。」

高校時代のスポーツは、自分のため、自分自身の成長のためにがんばってくればそれでいいんです。でも、そのがんばりが、周囲の人や地域の方を元気にするのも高校スポーツ。そして、その真ん中にいる君たちが、自分自身とは別の誰か、何かのためを意識でき、そう考えることができたとき、その人の想いも全部味方につけて、思わぬ力を発揮するような気がしてなりません。

野球部の諸君。月並みの言葉ですが、悔いの残らぬよう、練習の成果を思う存分発揮してください。北高は、応援する生徒、先生も含めた“全員野球”で君たちを応援します。健闘を祈る。

“愛は勝つ”の替え歌で “夏は勝つ”

心配ないからね 君の努力が
必ずとどく夏がやってくる
どんなに困難でくじけそうでも
信じることを決してやめないで
Carrv on carrv out
傷つけ傷ついて 野球する切なさに
すこしつかれても Oh・Oh もう一度夢見よう
勝ち取るよろこびを知っているのなら Oh

夜空に流星をみつけるたびに
願いをたくし 選手はやってきた
どんなにコールドでくじけそうでも
しんじることさ 必ず最後の夏は勝つ

Carrv on carrv out
求めてうばわれて 与えてうらぎられ
生徒は育つもの Oh・・・Oh・・・
弱ければ 弱いほど
勝ちとるよろこびは きっと大きいだろう Oh

心配ないからね 君の努力が
必ずとどく夏はきつとくる
どんなに困難でくじけそうでも
信じることさ 必ず最後の夏は勝つ
信じることさ 必ず最後の夏は勝つ

※ 昔、野球部長をしていた頃、調子に乗ってよく歌っていた替え歌です。

保護者の方も、是非、ご参加ください！

地域の若手経営者と語る地域の未来・私たちの未来
～若手経営者との交流会～

高校生と学びましょう！

あなたは、これまで自分を育んできた
“ふるさと”のことをどれくらい知っていますか。

今、“ふるさと”は、大きな課題に直面しています。その課題とは？

でも、魅力もたくさんあるはずですよ。

語れますか。自分の“ふるさと”の
地域で実際に活躍しておられる先輩方から学びましょう。

その可能性を感じ取りましょう。

その“学び”は、あなたが進路を決める時、あなたの武器になるはずですよ。

立ち上がれ！北高生！

- 日 時 平成29年7月12日（水）
13:35～14:25
- 会 場 豊北高校体育館
- テーマ：若手経営者の現状とこれからの課題
 - ・ 地元で事業所を置いた理由、メリット・デメリット
 - ・ 自分が思う地元下関市（豊北町）とは
 - ・ 若手経営者から高校生へのアドバイスなど
- 方法 パネルディスカッション
パネラー：上谷全彦様（アリフク印刷）
竹田義男様（竹田電気工業）
井上博臣様（テイケイエンジニアリング）
- 司 会：井上直行（いのけん）

新高校 “学校説明会”

来年4月に豊北高校の校地に開校する山口県立下関北高等学校について、生徒・保護者をはじめ、地元の方々に直接説明する説明会を開催します。

在校生のみなさん、そして保護者の皆さん。新高校の応援をよろしくお願ひします。

日時	会場	説明内容
7月23日（日） 午後1:00～午後2:00	下関市立 川棚公民館 講堂	設置学科 教育の特色（教育課程） 部活動などについて
7月23日（日） 午後4:30～午後5:30	下関市立 滝部公民館 講義室	